

目次

□巻頭言 新任所感……………大内田 正 / 1
 筑波研究学園都市の建設現況……………石原 憲一郎 / 3

グラビヤ——筑波研究学園都市の建設

平戸大橋ケーブル工事の施工……………西川 幸男 / 11
 豊島 雅理 弥宙
 恵那山トンネルの換気設備……………山田 轟夫 / 18
 松浦 有毅
 シールド掘進機の現状と問題点……………小竹 秀雄 / 28
 新しい軟弱地盤用機械式シールド掘進機……………嶋原 六郎 / 36
 玉野 井 岐

OD 工法における

WELLMAN せん孔機とせん孔試験……………根本 忠 / 40
 25 m³ グラブ浚渫船“三友一号”……………平井 吉久 / 46
 潜函用掘削機とその施工……………今田 研次 / 51
 森 秀生
 □随想 省資源と省エネルギー……………梅村 宏 / 57
 600 t/400 t 大型疲労試験装置……………奥川 淳志 / 60
 凍結防止剤散布車の開発……………栗山 弘 / 65
 稲垣 稔
 ブルドーザ転落時の ROPS の挙動……………桑垣 悦夫 / 70
 本芹 田 宜富 史雄

車両系建設機械の全国指定教習機関……………労働省安全衛生部安全課 / 76

□建設機械化研究所抄報 <No. 112>

324. サカイ SV 55 型振動ローラ…………… / 78
 325. 川崎 KVR 15 型振動ローラ…………… / 79
 326. 日野 ZH 110 D 型除雪用ダンプトラック…………… / 80
 327. 小松 WF 22 A-2 型ソイルコンパクタ…………… / 81

□文献調査

ホーバークラフト式軟弱地作業足場……………広報部会・文献調査委員会 / 83

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額
 および建設機械卸売価格の推移……………調査部会 / 84

ニューズ……………(編集部) / 85

行事一覧…………… / 85

編集後記……………(新開・鈴木康) / 86

◀表紙写真説明▶

GE-1500 超大型グラブ浚渫船
 株式会社 神戸製鋼所

本船は三友海洋工事(株)の依頼により昭和49年6月に完成された世界最大の超大型グラブ浚渫船である。巻上荷重150t(GE-1500)の能力を有し、グラブバケット容量(W.L)はミディアムタイプで25m³(自重約85t)、ウルトラヘビータイプで13m³(自重約125t)、また、浚渫深度(水面下)は80mまで可能であり、特に硬土盤掘削に威力を発揮する画期的な性能を備えている。さらに過酷な作業条件においても精度よく稼働できるよう随所に配慮が行きとどいており、今後予想される海洋大型工事において大いに活躍するものと期待されている。